

菊川で学ぼう

菊川市外国人児童生徒就学ガイドブック

- 1 はじめに
- 2 わたしたちのまち菊川
- 3 日本の学校制度
- 4 入学・編入・転入・
転出・退学について
- 5 費用について
- 6 学習について
- 7 行事について
- 8 学校生活について
- 9 保護者の方へのお願い

平成 23 年 6 月

菊川市教育委員会

1 はじめに

現在在籍している外国籍児童生徒は、学校で日本語を覚え、たくさんの友達を作っています。日本で生まれた日本語が話せる子どもがほとんどです。しかし、家庭ではあまり日本語を使っていない場合が多いです。子どもによっては、幼稚園や保育園での経験があっても、学習に必要な持ち物がそろわず、授業を理解できない場合があります。また、引越しが多かったために、日本語や生活習慣が十分身につけていない場合もあります。

菊川市では、保護者の方に日本の生活習慣と学校生活をより理解していただくためにこの案内を作成しました。子どもたちが安全で楽しい学校生活を送るために、入学前に必ずこの手引きをよく読んでおいてください。

2 わたしたちのまち菊川

菊川市は、静岡県西部に位置しています。菊川市の冬は温かく、雪が降り積もることはほとんどありません。この温暖な気候を利用して、さまざまな農作物が作られています。「お茶のまち菊川」と広く知られ、お茶のほか、アロエ、ブルーベリー、トマトの観光農園など豊かな自然に恵まれています。

(1) 菊川市への交通手段

<電車で>

- 東海道新幹線
東京——掛川 (約1時間50分)
名古屋——掛川 (約1時間)
- 東海道本線
掛川——菊川 (約5分)

<車で>

- 東名高速道路
東京 I C——菊川 I C (約2時間20分)
名古屋 I C——菊川 I C (約1時間30分)

<飛行機で>

- 富士山静岡空港——菊川駅 (約25分)

(2) 菊川市立の小学校一覧

学校名	住所	電話
小笠東小学校	菊川市川上 1 3 4 8 - 2	7 3 - 2 0 5 0
小笠南小学校	菊川市高橋 3 5 0 3	7 3 - 2 2 2 0
小笠北小学校	菊川市嶺田 5 9	7 3 - 2 0 5 4
六郷小学校	菊川市本所 2 2 0 0	3 5 - 3 1 4 7
内田小学校	菊川市下内田 1 6 3 7	3 5 - 2 6 3 2
横地小学校	菊川市東横地 1 8 8 6	3 5 - 3 5 5 2
加茂小学校	菊川市加茂 5 1 1 4	3 5 - 3 3 4 7
堀之内小学校	菊川市西方 2 1 4 0	3 5 - 2 1 0 8
河城小学校	菊川市吉沢 5 5 6	3 5 - 3 3 3 0

(3) 菊川市立の中学校一覧

学校名	住所	電話
岳洋中学校	菊川市下平川 5 4 3 0	7 3 - 2 4 0 0
菊川西中学校	菊川市加茂 3 8	3 5 - 3 5 4 6
菊川東中学校	菊川市本所 6 7 0	3 5 - 2 3 3 5

3 日本の学校制度

(1) 義務教育

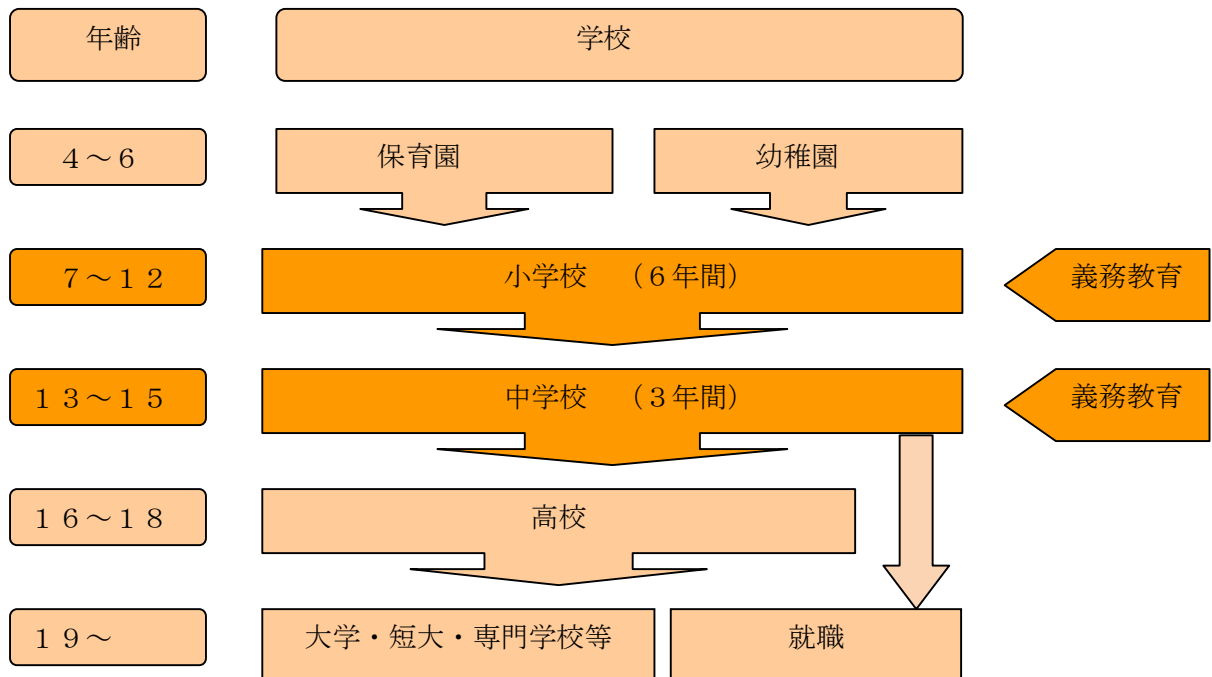
日本では、子供は満6歳の誕生日を過ぎた4月から小学校に入学します。小学校は6年間、中学校は3年間、合わせて9年間が義務教育です。国の方針で、すべての国民が平等に教育を受けることが義務付けられており、教える内容も決まっています。外国人児童生徒の場合、義務教育ではありませんが、これらの学校で同じように授業を受けることができます。

菊川市のいくつかの学校では、日本語がよくわからない子どもたちのために、日本語を勉強するクラスも設けられています。

<参考：菊川市内で日本語教室がある小中学校（平成23年度）>

小笠東小、小笠南小、小笠北小、六郷小、岳洋中、菊川東中

(2) 日本の教育制度



4 入学・編入・転入・転出・退学について

(1) 小学校入学までのスケジュール（学校によって多少違います。）

- | | |
|--------|---|
| 10月 | 健康診断、知能検査
中央公民館で一斉に行います。事前に家庭に案内の通知が郵送されます。 |
| 10～11月 | 入学説明会
学校での生活のことや、いろいろな準備についての説明がありますので必ず参加し、もらった書類は大切に保管してください。 |
| 10～11月 | 就学手続き
本人と保護者の外国人登録書と印鑑をもって、教育委員会（中央公民館：菊川市下平川 6883 TEL73-1113）に行ってください。
この手続きは毎年行いますが、入学後は小学校を通して申請します。 |
| 11月頃 | 小学校で使う物を注文
入学時には、体操服や学用品等で、およそ4～5万円の費用がかかります。 |
| 1月 | 入学通知書（はがき）が家庭に郵送される
これは入学式の日に学校に提出する重要な書類です。大切に保管してください。 |
| 1～2月 | 一日体験入学。学用品を受け取る。 |
| 4月 | 入学式 |

(2) 転入・編入

- ① 菊川市役所で住所変更の手続きをしてください。すでに菊川市の住民の場合には必要ありません。
- ② 教育委員会（中央公民館：菊川市下平川 6883 TEL73-1113）に、外国人登録証（本人と保護者）と印鑑を持って手続きに行ってください。行く前に電話連絡をしてください。
- ③ 日本語が十分に話せない場合には、特別な日本語教室（下記の(ア)及び(イ)）の説明を受けて、その教室で学習するかどうか相談します。
(ア)初期支援教室（六郷小学校内）
(イ)虹の架け橋教室（菊川市赤土：NPO 団体が運営）
- ④ 日本語に心配がなければ、居住地区によって決められた学校に行き、学校からの説明を受けてください。
- ⑤ 日本では、年齢によって学習する学年が決まっていますが、場合によっては1学年下の学年に入ることができることもあります。教育委員会で相談をしてください。

(3) 転出

- ① 学校と相談し、転出日が決まったら転校のための手続きをします。
- ② 給食費や学校徴収金の精算をしてください。
- ③ 転出先で公立学校に入る場合には、その学校と連絡を取ってください。
- ④ 転出先の役場に行き、転入手続きをしてください。
- ⑤ 転出先の教育委員会に行き、就学の手続きをしてください。
- ⑥ その後は、教育委員会の指示に従ってください。

(4) 退学（一時帰国を含む）

- ① 帰国やブラジル人学校への編入などの予定を学校に伝えてください。
- ② 学校と相談し、退学日を決め、退学届を提出してください。
- ③ 給食費や学校徴収金の精算をしてください。
- ④ 一時帰国の場合にも退学届を提出してください。1ヶ月以内に再び学校に戻ってきた場合には退学届は破棄し、引き続き在学したことになります。1ヶ月以上戻らなかった場合には退学とします。
- ⑤ 一度退学となった学校に、もう一度編入することは可能です。

5 費用について

日本の公立学校は、税金によって運営されているため、学費は必要ありません。教科書も、国から無償で配布されます。しかし、次のような費用がかかります。

(1) 個人で購入するもの

小学校…体操服、リコーダー、ノート、筆記用具 等

中学校…体操服、体育館シューズ、リコーダー、ノート、筆記用具 等

(2) 学年費

ドリルなどの副教材、テスト代、校外学習の費用など

(3) 給食費

毎日食べる給食の代金。

(4) 積立金

自然教室や修学旅行など、宿泊を伴う校外学習のための費用です。多額の費用となるため、月々少しずつ積み立てをします。

(5) PTA 会費

学校には保護者と学校が協力して教育活動を行うための、PTA という組織があります。この組織が運営するさまざまな活動に参加するため、世帯ごと PTA 会費を納めます。

入学時に市内の金融機関に口座を開いていただくことになっています。一年の学年費や積立金等の額は、PTA 総会で報告され、学校徴収金として毎月 27 日に口座振替によって引き落とされます。徴収は、4 月～1 月までの年 10 回に分けられています。必ず引き落としができるよう、振替日が近くなりましたら残高を確認してください。

入学時に必要な費用

<小学校>

学校で使う文房具	約 25000 円
体育のしたく（半袖・長袖・短パン・帽子）	約 8200 円
ランドセル	約 15000～40000 円
上靴	約 1500 円
水泳セット	約 4000 円
絵の具セット	約 3500 円
書道セット	約 2000 円～3000 円
書初め用太筆	約 1500 円
笛	1200 円
縄跳び	約 350 円～600 円
裁縫道具	約 3000 円

<中学校>

制服 男子・女子（冬用）	35000 円～
制服 男子・女子（夏用）	12000 円～
ランドバッグ、名札セット、教材等	18320 円～
体育のしたく	14620 円～
靴類（通学・体育館等）	6610 円～7110 円
雨合羽（上下）クリーム色	5300 円～
水着・帽子等（小学校のものも可）	2500 円～4500 円
セーター	2100 円

小学校	学年費	給食費	積立金	PTA 会費
平均	12000 円程度	46000 円程度	20000 円程度	3000 円程度

中学校	学年費	給食費	積立金	PTA 会費	諸会費
平均	17600 円程度	51000 円程度	26000 円程度	3000 円程度	5400 円程度

6 学習について

(1) 学習内容（表の中の数字は平成23年度の1週間あたりの平均授業時数）

<小学校>

学年 教科等	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	9	9	7	7	5	5
社会			2	2.6	2.9	3
算数	4	5	5	5	5	5
理科			2.6	3	3	3
生活	3	3				
音楽	2	2	1.7	1.7	1.4	1.4
図画工作	2	2	1.7	1.7	1.4	1.4
家庭					1.7	1.6
体育	3	3	3	3	2.6	2.6
道徳	1	1	1	1	1	1
特別活動	1	1	1	1	1	1
総合学習			2	2	2	2
外国語活動					1	1
合計	25	26	27	28	28	28

<中学校>

学年 教科等	1年	2年	3年
国語	4	3 (4)	3
社会	3	3	2.4 (4)
数学	4	3	4
理科	3	4	4
音楽	1.3	1	1
美術	1.3	1	1
保健体育	2.6 (3)	2.6 (3)	2.6 (3)
技術・家庭	2	2	1
外国語	3 (4)	3 (4)	3 (4)
道徳	1	1	1
特別活動	1	1	1
総合学習	約1.5(1.4)	約2.5(2)	約3(2)
合計	28(29)	28(29)	28(29)

() 内は平成24年度以降変更される授業時数

(2) 授業時間

小学校では1つの授業が45分、中学校では50分で行われます。午前中に4時間、給食を挟んで午後1～2時間の授業があります。

(3) 持ち物

小学校では、授業や行事がたくさんあります。教科書やノートは教科ごと分かれており、いろいろな教材を使います。家から授業に使う材料を持って行くこともあります。子どもたちは、毎日翌日の持ち物を確認してランドセルの中に入れます。最初は、職員が時間割と持ち物を書いた紙を渡しますが、ひらがなを習ったら、子どもたちが自分で翌日の予定を書くようになります。持ち物を忘れないようお子さんと一緒に確認してください。また、すべての持ち物に名前を書くようにしてください。

(4) 宿題

学校では、持ち物や椅子、机、ロッカーなど、名前を書いて区別しています。できれば入学前に、自分の名前をひらがなで読み書きできるように練習しておいてください。ひらがなは小学校一年生で習いますが、家で毎日練習しなければ覚えられません。書き取りや本読みや計算は、どの学年でも家庭学習として必ず出されます。宿題をしないと勉強が進まないのです、子どもがやっているか確認してください。また、小学生の国語の本読みは、家族の誰かが聞いて、カードに記入してください。

中学校は教科担任制で、多くの先生から教科ごと専門的な内容を学びます。宿題もそれぞれの教科担任が出すものと学級担任が出すものがあります。

(5) テスト・試験

小学校のテストは普段の授業の中で行われます。

中学校のテストは決められた日に一斉に行います。約2週間前にテスト範囲が発表されます。試験の結果は評価に大きく影響し、評価は進学に大きく関わりますので、生徒はテスト前になると普段以上に時間をかけて勉強します。

<中学校の年間のテスト例>

時 期	試 験 名	対 象 学 年
4月後半	全国学力調査	3年生
6月後半	1学期期末テスト	全学年
9月始め	県下一斉学力調査	3年生
	校内実力テスト	2年生
10月始め	2学期中間テスト	全学年
11月後半	2学期期末テスト	全学年
12月始め	県下一斉学力調査	3年生
1月前半	県下一斉学力調査	1, 2年生
2月後半	学年末テスト	全学年

(6) 進路

小学校卒業後に私立中学等に進みたい場合には、入学試験があります。公立中学校の場合は試験はありません。居住地区によって決められた中学校に進みます。

中学校卒業後は、義務教育ではありませんので、保護者と本人が決めます。日本ではほとんどの中学生が高等学校へ進学します。高等学校への進学について詳しいことは別冊の「進学ガイドブック」をご覧ください。

7 行事について

(1) 主な年間行事

小学校	中学校
4月 始業式 入学式 身体測定、健康診断 授業参観・懇談会・PTA 総会 遠足	4月 始業式 入学式 身体測定、健康診断 部活体験（仮入部） 授業参観・懇談会・PTA 総会
5月 奉仕作業 家庭訪問（学校によって）	5月 奉仕作業 家庭訪問（学校によって） 進路説明会
6月 4または5年—自然教室 （学校によって7月、9月、10月） 運動会（学校によっては9月）	6月 1年—体験学習 2年—宿泊体験 3年—修学旅行 体育大会（東中は9月）
7月 プール開始 保護者面談 夏休み開始	7月 部活小笠大会、県大会 夏休み開始 家庭訪問（学校によって）
8月 奉仕作業（学校によって） 夏休み終了	8月 部活の大会 コンクール（吹奏楽など） 夏休み終了
9月 避難訓練	9月 避難訓練 身体測定
10月 修学旅行（6年） （学校によって11月） 市内陸上大会（5,6年） 市内親睦音楽会（4年）	10月 合唱コンクール
11月 校内音楽発表会（学校によって）	12月 進路相談（3年） 保護者面談 冬休み開始
12月 定着度調査 保護者面談 冬休み開始 マラソン大会（学校によって）	1月 冬休み終了 入学説明会（小学生向け） 立志式
1月 冬休み終了	

2月 1日体験入学	2月 私立高校入学試験
3月 6年生を送る会 修了式 卒業式 春休み開始 離任式	3月 公立高校入学試験 3年生を送る会 修了式 卒業式 春休み開始 離任式

(2) 小学校の行事

① 入学式

初めて学校に入ってくる一年生を歓迎する行事の式です。校長先生や上級生からお祝いの言葉があります。児童および保護者は、式にふさわしい服装で出席します。

② 始業式 / 終業式

始業式は学期の始まり、終業式は終わりに行う式です。小学校によって1年間3学期の学校と2学期の学校があります。全校で体育館に集まり、校長先生や仲間の話を聞きます。始業式では新しい学期に向けて気持ちを切り替え、終業式では、その学期の学習や生活について振り返ります。これらの式には保護者は出席しません。

③ 健康診断

全校児童が医師の診察を受け、体に異常がないか調べます。主に、視力検査、聴力検査、歯科検診、内科検診、心音心電図検査（1・4年のみ）、生活習慣病検診（1・4年のみ）、尿検査、貧血検査を行います。この他、結核検診を受けます。検査の内容は学年によって違います。ほとんどの検査は4月に行われるため、途中編入の場合は、機会を逃して受けられないこともあります。母子手帳は、予防接種の際に必要なので必ず家で保管してください。

④ 家庭訪問

学級担任が家庭を訪問し、家庭での子どもの生活の様子を聞いたり、学校での様子を話したりします。お茶やお菓子などの準備は必要ありません。多くの小学校では、4月末から5月の初めに行なわれます。

⑤ 遠足

歩いて校外に出かけます。場合によってバス等を使います。約束を守って、集団で行動しながら、自然や文化に親しみ、教室では勉強できないことを楽しみながら学びます。学年ごと目的地を決め、市内の公園や史跡等を見学します。この日はお弁当の準備をお願いします。

⑥ 修学旅行

6年生の児童が政治・文化の中心である都市を体験的に学び、見聞を広げます。菊川市の小学校は東京方面に1泊2日で行きます。修学旅行に向けて、旅費の積み立てをします。事前に保護者説明会がありますので必ず参加してください。

⑦ 参観会・懇談会

参観会は、保護者が小学校に来て、子どもたちが学校でどのように生活しているか知る機会です。授業によっては、保護者も活動に参加する場合があります。子どもたちの授業風景を見た後、教室で懇談会が開かれ、保護者同士で話し合ったり、学級担任の話を聞いたりします。

子どもが学校でどのように学習し、生活しているかを見ることは、保護者としてとても大切なことです。仕事の都合をつけて是非参加してください。

学校によっては通訳をつけることもできますので、学級担任に相談してください。また、外国人保護者会を開いている学校もあります。

自由参観日や開放参観日には、好きな時間に好きな授業を参観できます。

⑧ 運動会

子どもたちがチームに分かれ、団体競技をしたり応援したりします。一日がかりで行う大きな行事です。お弁当を用意して、家族で食事をする学校もあります。

⑨ 社会見学

バスや電車等で校外に出かけ、工場や博物館を見学します。あらかじめ授業で勉強して、実際に職員の説明を聞いたり質問をしたりすることでさらに知識を広めます。お弁当を持って市外へ出かけることが多いです。

⑩ 宿泊訓練〈自然体験教室〉

4年生または5年生が学校を離れ、海や山に近い施設で寝食を共にし、自然とふれあい、共同生活を体験します。期間は1泊2日か2泊3日です。事前に健康調査などをし、説明会も開かれます。養護教諭も同行します。

⑪ 保護者面談

保護者が決まった時間に学校に来て、子どもの様子について担任と話をします。長期休暇の前に行く場合が多いです。学校によっては子どもも参加します。また、成績通知票を見ながら話をする学校もあります。個人的な悩みや問題を相談する上で、よい機会となります。面談の日時は、担任から事前に通知があります。通訳が必要な場合には担任に相談をしてください。

また、面談以外でも、心配事があれば学校に連絡してください。そのままにすると、大きな問題になることが多いです。他の保護者に相談して、間違った情報を得てトラブルになることもあります。小さなことでも学校へ連絡してください。

⑫ 避難訓練 / 児童引き渡し訓練

菊川市では、近い将来大きな地震が来ると言われています。学校では、地震や火事に備えて避難をする練習をします。児童引き渡し訓練では、保護者の方に学校へ来ていただき、子どもを連れて帰っていただきます。実際に学校にいる時、大きな地震が来た場合にも、保護者は学校に子どもを迎えに来てください。

⑬ 市内陸上大会

菊川市内の小学校の高学年（5・6年生）の児童が参加する陸上大会です。児童は、各自決まった種目に参加し、順位を競います。大会まで、体育の時間や放課後に練習します。会場は袋井市エコパスタジアムです。保護者は客席から応援することができます。

⑭ 親睦音楽会

菊川市内の小学校の4年生（学校によっては3・4年生）の児童と中学生が参加する合同音楽発表会です。児童は、学校ごと合唱や合奏を練習し、市の文化センター「アエル」で発表します。当日まで、音楽の時間や放課後に練習します。

⑮ 卒業式

最高学年の児童が学校に別れを告げ、卒業していく式です。卒業生は、卒業証書と記念品を渡されます。児童および保護者は、式にふさわしい服装で出席します。入学式と共に大事な行事です。

⑯ 修了式

3学期の最後の日に行われ、その学年の学習を修めたことを表す修了証書をもたらします。保護者は式に参加しません。

⑰ 離任式

他校に転任する先生にお別れをする式です。だいたい3月末に行われますが、全校児童で参加し、先生のお話を聞きます。代表児童が先生に感謝の言葉を述べます。

(3) 中学校の行事

① 入学式

初めて中学校に入ってくる1年生を歓迎する行事の式です。校長先生や来賓の方からお祝いの言葉があります。生徒および保護者は、式ふさわしい服装で出席します。

② 始業式・終業式

始業式は学期の始まり、終業式は終わりに行う式です。菊川市の中学校はすべて3学期制です。全校で体育館に集まり、校長先生や仲間話を聞きます。始業式では新しい学期に向けて気持ちを切り替え、終業式では、その学期の学習や生活について振り返ります。これらの式には保護者は出席しません。

③ 健康診断

生徒一人ひとりが医師の診察を受け、身体に異常がないか調べます。主に、視力、聴力、歯科、内科、心音心電図、生活習慣病、尿検査、貧血、結核の検診を行います。検査の内容は学年によって違います。ほとんどの検査は4月に行われるため、年度途中の編入の場合は、機会を逃すこともあります。

④ 修学旅行

3年生の生徒が、2泊3日で奈良・京都を中心として歴史的建造物や博物館などを見学します。日本の古都を体験的に学び、見聞を広げます。事前に保護者説明会がありますので必ず参加してください。

⑤ 体育大会

全校生徒で行う体育の祭典です。クラス対抗や色別対抗の競技を行ったり、応援合戦を行ったりします。春に行う学校と秋に行う学校があります。この日は多くの保護者や地域の人たちが見学に来ます。

⑥ 合唱コンクール

全校生徒で行う音楽の祭典です。クラスで合唱曲を決め、音楽の時間や昼休み、放課後を使って練習します。どのクラスも最優秀賞を目指して力を入れて練習します。当日は「アエル」の大ホールで披露します。

⑦ 職場体験活動

主に2年生で、1～3日程度、学校を離れて実際の職場で働く体験をします。この体験を通して、将来の自分の職業について考えるきっかけとします。保護者に体験場所を紹介してもらう場合もあります。

⑧ 参観会・懇談会

参観会は、保護者が学校に行って生徒の授業を見る行事です。懇談会は、授業の後に担任と保護者が集まって、生徒の様子について話し合う会です。

子どもが学校でどのように学習し生活しているかを見ることは、保護者としてとても大切なことです。仕事の都合をつけて是非参加してください。

学校によっては通訳をつけることもできますので、担任に相談してください。また、外国人保護者会を開いている学校もあります。

⑨ 三者面談

保護者が決まった時間に学校に来て、生徒と担任と3者で、話し合いをします。中学校の場合、特に3年生になると、卒業後の進路の話題が中心となります。個人的な悩みや問題を相談する上で、よい機会となります。面談の日時は、担任から事前に通知があります。通訳が必要な場合には担任に相談をしてください。

また、決められた面談以外でも、心配事があればいつでも学校に言ってください。心配事をそのままにしておくと、大きな問題となることが多いです。他の保護者に相談して、間違った情報を得てトラブルになることもあります。小さなことでも遠慮せずに学校へ連絡してください。

⑩ 宿泊訓練（自然体験教室）

岳洋中学校と菊川東中学校では、2年生の5月ごろに1～2泊の宿泊を伴う集団生活を行います。野外活動や会社訪問などの活動が組まれることがあります。

⑪ 避難訓練

菊川市では、近い将来大きな地震が来ると言われています。学校では、地震や火事に備えて避難をする練習をします。1年に2回～3回実施します。

⑫ 立志式

2年生の1月または2月に行う立志式は、将来の自分の夢をもち、その実現のために努力する気持ちを新たにする儀式です。

外国人の生徒の場合、将来の見通しがはっきりせず、夢をもちにくい傾向があります。家庭でよく将来設計について話し合い、子どもが夢をもてるような支援をお願いします。

⑬ 卒業式

3年生の生徒が学校に別れを告げ、卒業していく式です。卒業式には、卒業証書と記念品を渡されます。生徒および保護者は、式にふさわしい服装で出席します。入学式と共に大切な行事です。

⑭ 修了式

3学期の最後の日に行われ、その学年の学習を修めたことを表す修了証書をもたらします。保護者は式に出席しません。

⑮ 離任式

転任や退職する先生にお別れを告げる式です。春休み中に行われますが、全校生徒が参加し、先生のお話を聞きます。代表生徒が先生に感謝の言葉を述べます。

(4) 中学校の部活動

野球・ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、テニスなど、運動部を中心として部活動があります。放課後や土・日曜日の休日に活動しています。ほとんどの生徒が所属し、日ごろの練習の中で精神力を鍛え、体力・技術の向上を図ります。ユニホーム、ラケット、グローブ、スパイクや楽器など、個人的な用具は個人負担となりますので、経費のことを考えておく必要があります。そして、7月頃に大きな大会があります。4月に説明会が行われ、見学会、体験入部、仮入部を経て決定となります。部活動は、3年生が中体連の夏の大会を終わると退部します。その後、2年生を中心とする部活動が始まります。その最初の公式戦が新人戦で、毎年9月に行われます。

(5) PTA 活動

日本の幼稚園や小学校、中学校には PTA という保護者と職員の会があり、協力し合って教育が円滑に進むよう支援する活動をしています。主に PTA 総会、リサイクル活動、奉仕作業（半日、年一回）プール当番などを行ないます。町内会ごと割り当てられている活動もあり、保護者は必ず参加します。行事についてはおたよりが配布されますが、活動内容は地域によって違うので、詳しいことは近所の方に聞いてください。

日本では、大量のごみによる有毒ガスなどの公害を防ぐため、使えるものを再生産するリサイクル活動が行われています。そのため、古新聞や古雑誌を地域で集めます。各家庭、幼稚園、学校は、この地域の活動に協力し、全員で行います。トラックの積み込みなどの作業もあるので、必ず参加してください。

また、町内会の活動には、通学路の草刈りなどの作業やクリスマス会などの行事もあり、日本の子どもたちはこれらの活動に参加しています。活動を通して、子どもたちは近所の子どもや保護者と親しくなります。子どもたちが楽しみにしている行事もあるので、できるだけ参加するようにしてください。

8 学校生活について

(1) 登下校

小学校の子どもたちは、登校班ごとに集まり、徒歩で集団登校します。雨が降っても、子どもたちは自分たちで集団登校をします。日本の学校では、「自分のことは自分の力でやりなさい」と教育しています。よほどひどい天候でない限り、保護者に送ってもらいません。下校時も、保護者に迎えに来てもらわず、子どもたちだけで歩いて下校します。

登校する時は、班ごと決められた時刻に集合場所に集まるので、遅れないように保護者が送り出してください。8時（学校によっては8時10分）までには必ず学校につくようにしてください。

小中学校とも、登下校は必ず決められた通学路を通りましょう。寄り道をしてはいけません。帰る途中にお菓子やジュースを買うことはできません。

雨の日でもカッパを着て、徒歩（中学生の一部は自転車）で登校させてください。台風の際は、学校からの連絡を待ちます。下校時も、安全が確認されるまで学校で子どもたちを預かります。

(2) 街頭指導

時々、保護者や教師が交替で通学路に立ち、子どもたちに歩き方を指導します。子どもたちは親や教師に見守られながら気をつけて歩き、交通ルールを学びます。入学当初は、集合場所や登校途中で他の子に迷惑をかけていないかを様子を見たり聞いたりしてください。

(3) 遅刻や欠席の連絡について

日本では、学校に連絡せずに遅刻や欠席をすることは考えられません。保護者からの連絡がなくて、児童が学校に来ていない場合は、安全確認のため、職員は家や会社まで電話します。連絡が取れない場合は、家庭訪問も行います。

遅刻や欠席の学校への連絡方法は、小学校と中学校で違います。

小学校の場合、登校班のリーダーに連絡カード（遅刻欠席カード・体育見学カード）を渡してください。早退や体育の見学の時も同様に連絡します。やむを得ない時は電話してください。8時までに連絡がない場合、学校では通学途中に事故に遭ったのではないかと心配します。

中学校の場合、学校へ8時までに保護者が電話連絡をしてください。本人ではなく、必ず保護者がしてください。学校では、（昇降口開場時刻）以降とし、チャイム開始時に、ロッカーにバッグを入れ、着席している生徒を出席とします。

学校で勉強している時に、病気やけがで病院に行ったり、授業の途中で家に帰らなければならない場合もあります。保護者への連絡先（職場や自宅の電話番号）は、必ず学校に知らせておきましょう。変更の場合はすぐに連絡してください。

体調が悪い時は、朝必ず熱を計ってください。はしか、水痘、耳下腺炎、風疹、その他伝染性の病気にかかった時は出席停止になり、欠席扱いにはなりません。病院へ行って、出席停止の書類をもらい、学校へ提出してください。病気がよくなり、医師の許可が出れば登校できます。

(4) 持ち物や服装について

<小学校>

登下校は、自由な服装で行います。体育のある日は体操服の上下と帽子、水泳の時は水着、タオル、水泳帽、水着、ゴムぞうりを持たせてください。また、季節や天候によって服装を調節してください。冬になると登下校中は寒いですが、教室の中では上着を脱ぎます。

厚着をしていると、休み時間に遊んで汗をかき、風邪を引くことがあります。なるべく脱着しやすいものを着て登校しましょう。セーター類を着るときは、下に綿の下着を着ると、汗を吸い取り、暖かいです。

持ち物には全部名前を書きましょう。日本では、子どもたちが落し物を見つけたら必ず職員に届けるよう指導しています。物をなくした場合も、持ち物に名前が書いてあれば誰かがと届けてくれることが多いです。名前がなかったら、見つけた人が持ち主に届けられず、トラブルのもとになります。新しく購入した物にも名前を書いてください。学校では、このような習慣をとおして、物を大切にすることや他人の気持ちを思いやることを指導しています。また、子どもが勉強に集中するために、学用品にキャラクター商品を使うことはやめましょう。

おもちゃや食べ物など余分なものは持ってこないでください。学校では、必要なものはすべての子どもに同じように配布しています。家から持ってきてほしいものがあれば、おたより等で連絡します。それ以外のものを持ってくると、ほかの子どもが欲しがり、喧嘩になることがあります。

アクセサリーは、体を動かすとき邪魔になります。学校にはつけてこないでください。ネックレスやイヤリング、ピアス、指輪などをつけたり、口紅などの化粧やマニキュアをして学校に来ることは禁じられています。

校内では、日本の習慣として上靴に履き替えます。上靴を履かずにいると、怪我をしやすく危険です。毎週末に上靴を持ち帰りますので、子どもに洗わせて必ず月曜日に持たせてください。

<中学校>

中学校では、男子は学生服、女子はセーラー服を着ます。制服については、学校指定のものを購入します。制服には夏服と冬服があり、衣替えの時期も決まっています。

男女とも、ワイシャツの下には下着を着ます。(体操服を下着替わりに着てはいけません。) 通学靴や靴下、セーターやコートなどは、各中学校によって細かな決まりがあります。放課後や休業日に学校へ登校する時は、制服か体操服、または部活で揃えた服装で登校します。私服で校舎内に入ることはできません。

身だしなみとして、男女ともに中学生らしい髪型を心がけます。髪が長い生徒は必ず縛ります。パーマ、カール、脱色、染髪、整髪料の使用などは禁止されています。化粧や香水、眉毛を極端に細くすることも禁止です。アクセサリーもつけてはいけません。

学習や部活に必要なもの以外は、学校へ持ってきてはいけません。(例：金銭、携帯電話、漫画、雑誌、ゲーム、菓子、ジュース類など) 通学時には、学校指定のランドバッグを使用します。水筒の持参は可能ですが、中身はお茶にします。ジュースは持ってきてはいけません。

(5) 給食について

日本の学校では、子どもたちが健康で安全な生活ができるよう、生活面についても指導します。一人一人が規則正しい生活を身につけ、健康管理をし、丈夫な体を作ることが大事だと考えています。学校では、お昼に学校給食があります。給食は、菊川市の給食センターで調理され、学校に運ばれます。そこで出されるものは、栄養士によって栄養のバランスが考えられた食事です。

子どもの年齢によって量は違いますが、幼稚園から中学校まで同じメニューになっています。学校では、栄養が偏らないように、また食べ物を無駄にしないよう、給食をできるだけ残さないよう指導しています。献立は日本食が多くなりますが、野菜や海藻なども好き嫌いなく何でも食べられるように指導してください。食物アレルギーがある場合には、あらかじめ学校に連絡をしてください。

日本の学校では、給食以外におやつ等を校内で食べてはいけません。決まった時間にきちんと食事をする習慣を身につけるためです。学校では、丈夫な体を作るために、朝ご飯と給食をしっかり食べるよう指導しています。甘いものをとり過ぎると肥満や虫歯の原因にもなります。そのため、学校に飴やガムなどのおやつを持ってきたり休み時間に食べたりすることはできません。水筒の中にもジュースやレモンティーなどを入れて来てはいけません。必ず、お茶(緑茶・むぎ茶)か水にしてください。

子どもたちは、配膳の指導から後片付けまで自分たちでやります。学校給食にかかる経費のうち、食材料費については保護者が負担することになっています。給食が行事等でお弁当に変更になる場合もありますので、予定表や手紙をよくご覧ください。

一時帰国などで給食を食べないことがわかっている場合、あらかじめ届け出をすれば給食費が還付されることがあります。長期欠席になりそうな時は、前もって学校にご連絡ください。

(6) 清掃について

日本では、職員と児童生徒が全員で毎日学校を掃除します。子どもたちは作業を分担し、教室をきれいにしたり、草取りやゴミ拾いをしたりします。職員も、子どもたちに作業の進め方や道具の使い方を指導します。子どもたちは、学校を掃除することで、公共物を大切にすることや最後まで作業に取り組むことを学びます。そして、作業をとおして友だちとの関わり方を知り、協調性を身につけます。

学校では、普段から自分が使ったものは自分で片付けるよう指導しています。学級の本や道具を借りた時もていねいに扱い、元の場所にきちんと返すように心がけさせています。学級ごとに班や係の仕事があり、黒板ふきや花の水替えなど、それぞれ自分たちで決めた仕事をします。5・6年生は、委員会の仕事もします。また、子どもたちは自然に親しみ生命の大切さを知るために、花を育てたり魚やウサギを飼ったりします。学年によっては、子どもたちが順番に花や動物の世話をすることがあります。子どもたちが生き物を大切にすることで、責任感や粘り強さ、奉仕の精神を育てたいと考えています。

(7) 下校時刻について

土曜日、日曜日、祝日は学校は休みです。普通日課と特別日課があり、会議や特別な行事がある日は特別日課になります。特別日課の日は、授業時間や休み時間が通常よりも短くなります。下校時刻も早くなり、午前中で終わることもあります。

下校時刻は、曜日や季節、学年によって異なります。普通日課の場合、4時間授業の時は午後2時頃、5時間授業の時は3時頃、6時間授業の時は4時頃下校します。高学年は授業数が多く、委員会やクラブがあるため、下級生より下校が遅くなります。行事等によってお弁当を持参する日もあります。

日課の変更や給食の有無などは、毎月予定表が配布されるので、それを見て確認してください。

子どもたちは、朝は集団登校をしますが、帰りは各自で下校します。学校では、「寄り道をせず、決められた通学路を通りましょう」「友達の家に行く時は、一度家に帰ってから行き先を告げて出かけましょう」と指導しています。時々、「子どもがなかなか家に帰って来ない」と心配される方がいます。おたより等で下校時刻を確認し、子どもに帰宅時刻を守るよう指導してください。

9 保護者の方へのお願い

○子どもを学校行事に参加させましょう。

小学校には、親子や児童全員で参加する行事があります。日本の学校では、さまざまな活動をとおして心身ともに成長させることを教育の一つとして考えています。友だちと協力して作業をする力、目的を持って自主的に行動する力は、こうした活動の中で培われます。子どもだけで行う行事も多く、行事に参加することは勉強と同じくらい重要なことと考えています。ご家庭でも、子どもに何でも挑戦してみるよう促してください。

○保護者の方も学校行事に参加しましょう。

小学校の場合は特に、子どもの成長に保護者の協力が不可欠なので、保護者の方に学校に来ていただくことが多いです。それは、学校での子どもの様子を知っていただき、親子のつながりを深め、子どもの勉強や生活態度に気を配っていただくことを目的に行われています。学校では、保護者の方が学校の教育活動に関心を持ち、職員やほかの保護者の方とのつながりができることを願っています。行事の日程や内容は、各学校によって多少異なりますので、学校からの通知でご確認ください。

○子どもに学校での様子を聞きましょう。

保護者の方の中には、「子どもの友だちを知らない」「子どもが学校から帰宅後、何をして過しているか知らない」という方がいます。このようなお宅は、保護者の方が仕事で帰りが遅く、子どもと話す時間が少ないのだと思います。お忙しいとは思いますが、子どもとのふれあいの時間を大切にしてほしいです。毎日子どもから学校の様子を聞いてください。

○子どもに早寝早起きの習慣をつけましょう。

夜寝る時刻が遅い子が多いです。寝るのが遅いと、朝なかなか起きられません。朝早く起きられず、朝食を食べてこない子もいます。寝不足で学校に来ると、あくびが出てなかなか調子が出ません。頭の回転がよくなるのは、睡眠時間を9時間くらいとり、起きてから2時間経ってからだといわれています。健康的な生活の基本は、快眠、快食、快便です。ご家庭でも、子どもたちに夜9時には寝るように声をかけてあげてください。そして、気持ちよく起きて朝食とり、トイレを済ませて元気よく登校できるようにしましょう。

○欠席を減らしましょう。

「雨が降るから」「勉強をやりたくないから」などという理由で学校を休むのはやめましょう。少しのことでへこたれず、我慢することも必要です。欠席が多いと子どもは授業の内容がわからなくなります。がんばって登校することが学習意欲にもつながります。ご協力をお願いします。

○子どもの送り迎えをしないようにしましょう。

小学校では、すべての児童が徒歩で通学しています。日本では、夏の暑さも冬の寒さも厳しいですが、子どもたちは病気や怪我でなければ歩いて登校します。中学校でも、保護者は学校までの送り迎えをしません。（部活動の大会や試合での送り迎えはあります。）子どもの成長には、暑さや寒さに負けない丈夫な心と身体をつくる必要があると考えています。子どもたちが自分の力でがんばるよう見守ってください。また、子どもたちは毎日必要な教科書とノートを家に持ち帰ります。ランドセルが重くなりますが、学校では、1年生でも家で予定をそろえ、宿題をやる習慣を身につけています。必ず子どもに持ち帰らせてください。

○日本の食事に慣れさせましょう。

子どもたちは、日本の学校に入ったら日本の給食を食べます。日本の食事が口に合わない場合があると思いますが、日本の食事を食べることができるよう努力させてください。

○バランスのとれた食生活を心がけましょう。

時々、学校に来ると朝から体の不調を訴える子がいます。寝不足や不規則な食事が原因ではないかと思います。少食、偏食の子も多いです。また、カロリーの高い食べ物を多って、肥満傾向にある子どももいます。家の人が会社の残業で一緒に食べることができず、子どもだけの偏った食事になる子も見られます。今一度、ご家庭での食生活のあり方を見直していただきたいと思います。

○提出物の期限や面談の時刻を守りましょう。

学校では、たくさんの書類をやりとりします。小中学生は、すべての書類を持ち帰り、保護者に渡すことになっています。中には、学校行事に参加するために必要な書類や、市教委に提出する書類もあります。学校から来た書類にはすべて目を通し、返事が必要なものは必ず記入し、期限までに持たせてください。

○学校のおたよりを確認しましょう。

学校によっては、日本語がわからない子どもや保護者のためにポルトガル語に翻訳ができることもあります。その場合、重要なお知らせはできるだけ訳をつけませんが、すべてを訳すことはできません。わからないものについては、学校の先生や友だちに聞いてください。子どもが学校から帰ってきたら、大切なおたよりがないかどうか、子どもに確認し、子どもの持ち物を確かめてください。

○宿題を確認しましょう。

宿題は、基本的には毎日あります。子どもがやった宿題は、たとえわからなくても、やってあるかどうか毎日調べて、宿題カードに、宿題をやったことを認めるサインをしましょう。

○子どもに家庭学習の習慣をつけましょう。

子どものノートや教科書、筆箱の中身がそろっているか、見届けをしてください。鉛筆を毎日削り、学習の準備をさせましょう。低学年のうちには、子どもと一緒に予定を確認してください。また、決まった時間に家で勉強をする習慣をつけましょう。

○部活動への入部について、子どもとよく話をしましょう。(中学校のみ)

中学校の部活動は、平日の放課後だけでなく、土日祝日や長期休暇にも行われます。大会や練習試合は土日に行われることが多く、無断で遅刻や欠席をすることはできません。部活によっては、土日に練習試合がある場合、保護者が試合会場まで送り迎えをしなければなりません。ユニホームやスパイク、楽器など、個人で使う場合は買わなければなりません。また、部活動は塾やクラブではありません。一度入部したら、簡単にやめたり他の部活動に入ったりすることはできません。仲間と一緒に大会に出られるように、練習に参加して技術を磨きましょう。中学校では仮入部期間を設けています。活動動内容をよく聞いて、家でよく話し合ってから決めましょう。

○学校に用事で行くときは、事前に連絡をしましょう。

わからないことがあったら、他の人に聞いたり、学校に聞いたりして、わかるよう努力をしてください。学校に用事で来るときは、必ず事前に連絡し、いつ行けばよいか都合の良い日時を確かめてから学校に行ってください。連絡なしで突然来ていただいても、担任や担当職員が出張や会議で対応できない場合があります。